

大连理工大学2011年度教学改革基金课题重点项目

高 / 级 / 日 / 语 / 系 / 列 / 教 / 程

高级日语

第 1 册

大连理工大学外国语学院日语系 组织编写

主 审：杜凤刚 李筱平
总主编：孟庆荣
主 编：王 冲 王玉明
副主编：穆 红 鲁 畅



大连理工大学出版社

大连理工大学2011年度教学改革基金课题重点项目

高 / 级 / 日 / 语 / 系 / 列 / 教 / 程

高级日语

第 1 册

大连理工大学外国语学院日语系 组织编写

主 审: 杜凤刚 李筱平

总主编: 孟庆荣

主 编: 王 冲 王玉明

副主编: 穆 红 鲁 畅

编 者: 孟庆荣 王 冲 王玉明 穆 红

鲁 畅 赵丽红 闻 艺 李 捷

唐晓煜 孔 月 李光赫



大连理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

高级日语. 第1册 / 孟庆荣, 王冲, 王玉明主编. —
大连: 大连理工大学出版社, 2011. 8
ISBN 978-7-5611-6426-6

I. ①高… II. ①孟… ②王… ③王… III. ①日语—
教材 IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 163063 号

大连理工大学出版社出版
地址: 大连市软件园路 80 号 邮政编码: 116023
发行: 0411-84708842 传真: 0411-84701466 邮购: 0411-84703636
E-mail: dutp@dutp.cn URL: <http://www.dutp.cn>
大连力佳印务有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸: 185mm×260mm	印张: 18.25	字数: 419 千字
2011 年 8 月第 1 版	2011 年 8 月第 1 次印刷	

责任编辑: 宋锦绣	责任校对: 袁风 李彤
封面设计: 夏文娟	

ISBN 978-7-5611-6426-6

定 价: 30.00 元

この本をお使いになる方へ

このテキストは、2009年度大連理工大学出版社から出された、大連理工大学日本語学部編集の『新総合日本語』シリーズ教材の上級編になります。基本的に初級を終えた、或いは中級段階の学習者を対象と致します。**大学生の場合、大学三年生を対象とするものです。社会人の場合、日本語中級程度、或いは日本語能力試験N2レベル相当の学習者をも対象に入れております。**基礎段階で終わられた体系的学習を深めながら、更に総合的日本語の運用能力を高めることを目指すものです。

初級或いは中級段階で日本語表現の基礎を中心にしてきたものに対して、高級レベルでは言語運用の能力、コミュニケーション能力を高めることに目標を設定されており、つまりこれまで習ってきた日本語を使って何かを習得したり、自己表現したりすることが目標となります。例えば中級までは文章はどんな内容のものだったのか、語彙や文法表現はどんな意味を表しているのかなどだったが、上級では、作者は何を言いたかったのか、作者の主張なりにあなたはどうか考えているのか、またどうすべきなのか、皆と議論しながら言語運用能力を伸ばすものになります。もちろん、各課には語彙や文法或いは表現の説明も細かにあり、初級後半レベルの学習者も十分お使いいただけるように、配慮いたしました。

日本語ばかりではなく、あらゆる言語の取得には実践が付きもので、よって本書ではグループ活動という実践項目を一人でもペアやグループでも完結可能な課題を多い目に盛り込みました。ぜひ本書を使って、活動にチャレンジしていただきたいものです。

多くの学習者がより良い日本語能力を上達できる手助けになれば幸いです。

このテキストを使って指導される方へ

本書は以下の理念にもとづき作成いたしました。

1. 本書の理念

①実践的言語学習をすること

★言語の習得は実践が伴わなければ、運用力が身に付けられるものではないと思われます。

②思考を深めること

★知識を鵜呑みにするのではなく、作者なりの主張を自分なりに理解し、価値判断することも必要だと思われます。

③自己表現を大事にすること

★自己主張をする、またできるように努力することが大事です。

④自立学習を養いながら、協働学習を学ぶこと

★自立学習は勿論大事ですが、他者との協力によって勉学することも大事です。

⑤問題を発見し、解決する能力を身に付けること

★高級段階の日本語学習では、勉強中に疑問を持つこともあると思います。その疑問を持つばかりではなく、解決能力、つまり課題を見つけ、更に完成する能力も身に付けてほしいものです。

⑥自分に目覚めること

★最後に、本書を通して自己発見の道が開けたら、我々にとってこの上ない喜びとなるでしょう。

2. 本書の主旨と目標

本書は言語運用能力をベースに、学習者の総合的なコミュニケーション能力を養うことを目指すことです。具体的には次の3点に凝縮されました。

①コミュニケーション能力の向上

★言語習得の目的とも言える、異文化他者とのコミュニケーション能力を向上させることにあります。

②自己アピール能力の向上

★自分の思考力を鍛え、更に表現できる能力を鍛えることにあります。

③協働学習能力の向上

★他者との協力によって習得する力、つまり協働学習を進めることにあります。

3. 本書の構成

各課では次のような構成になっております。

①グループ活動Ⅰ

★ウォーミングアップのための課題です。本番に入る前の前作業というもので、連想など学習ストラテジーの多用により、より本文内容の理解を深めるために、また連想することによって関連知識の運用や語彙力の増加を目指すものです。

②本文

★学習する文章になります。

③ 作家紹介

★学習者がよりよく作品を理解させるように、作家に関する基本情報を提供いたしました。この部分は学習者たちの自主学習をねらい、更なる詳細な情報提供を課題として完成してもらうこともよいでしょう。

④語彙と文法と表現

★文章理解をするための関連知識です。語彙の意味説明や、文法の意味と使い方と例文、慣用表現の意味解説などからなります。

⑤内容理解のポイント

★文章の内容をより良く理解させるために、また考えさせる力を鍛えるために、設問を多い目に設置いたしました。設問の内容は文脈における語彙内容の説明から、段落や作者の意図など、様々な角度から考える力を付ける課題からなります。この段階での教室活動展開もお勧めします。つまり設問の内容を一人でも、ペアやグループでも相談しながら解決することをお勧めします。

⑥グループ活動Ⅱ

★本文の学習を終えた段階で、本文内容と関連して、深めるための課題を設置いたしました。この部分でも協働学習をお勧めします。

⑦広く読もう

★更に能力アップする段階のものです。特に学習意欲旺盛な学習者のために、文章の関連情報なりをほんの少し提供いたしました。

⑧グループ活動Ⅲ

★関連文章を読んだ段階になり、更に本文内容を深めるための思考力、問題意識提起、また完成するための課題になります。授業内でも課外でも構わず、協働学習をお勧めします。

⑨発展課題(協働)

★基本的に授業外の課題設置になります。授業時間が限られているので、授業外でも議論の場や表現の場を提供するために設置いたしました。選択的に行えばよろしいでしょう。

⑩勉強の窓

★テキストの補助とも言えるこの部分は、テキストに設置された各種の教室活動をよりよく展開するために、それぞれの活動はどんなものなのか、どんなルールがあるのか、またどんな段取りで実行するかを、実例を持って説明してくれます。是非学習者に参考してもらいたい部分です。

⑪その他

★付録には単語、慣用表現、文法・表現がついています。

4. 本書を使った指導に関する基本情報

①対象者・レベル

★中級或いは中級以上の学生、社会人

②所要時間

★1課ごとに完結で、内容の長さや深さにより時間の要領は教師自身で把握する事をお勧めしますが、基本的に1課ごとの所要時間は約90分～180分が理想的だと想定されています。

③クラスのサイズ

★クラスのサイズにより、授業の進め方も違ってきます。小人数クラス2～6人から、30人前後のクラスでさまざまな対応が可能なグループ学習をお勧めします。また、教師ご自身による臨機応変な授業展開もよいでしょう。

④テキスト・活動のタイプ

★多様な教室活動をするようにお勧めし、個人発表や課題完結、或いはペア、グループ、ワークでの協働学習もお勧めします。また、諸先生方の更なる多彩な教室活動の展開を期待してやまないものです。

大連理工大学日本語学部編集者一同

2011年7月

本书使用说明（一）

2009年大连理工大学日语系编写的《新综合日本语》（基础篇）得以在大连理工大学出版社出版，而这套《高级日语》（高级篇）是这一系列教材的高级篇。学习对象为较好地完成了初级阶段日语学习的学习者，或者中级阶段以上的日语学习者。如果是面向日语专业的学生，则为大学三年级使用的精读课的课本；如果是面向社会自学者，我们建议有一定的日语基础，或基本完成了初级阶段的日语学习，即将进入或者已经进入中级乃至高级阶段的日语学习者自学使用。对于自学能力较强的自学者来说，将是拔高、提升自己的极好契机。本书的目标是：继续深入基础阶段的较系统的学习，同时以提高日语的应用能力为目标，努力提升个人的综合能力。

初级阶段乃至中级阶段的日语学习主要以打好日语语言基础功底为主，而高级阶段的日语学习主要以提高语言的应用能力、跨文化交际能力的掌握为主。亦即将至今为止掌握的语言应用起来，通过学习过的语言来掌握知识，用来表达个人的思想感情等。基础阶段的学习重点以课文里的语言表达理解，语法内容的理解乃至整体内容的理解为主，而高级阶段的学习以注重作者的意图，对作者的主张等个人的理解为主，通过参与课堂活动等用语言表达自己的主张、见解。要提到的是，我们认为发表个人意见时观点的对错不重要，重要的是会用日语表达自己的见解，以提高语言的应用能力。

每课后我们都附有单词，语法及固定表现的详细解释与说明，如果基础打得好的话初级后期的学习者也可循序渐进地跟进本书。

另外一定切记，语言是一门实践性很强的学科，为此本书中设定了许多课文相关的话题、问题和课题，这些课堂活动只要您认为可行，可以以一人、两人或者小组等任何形式展开，希望广大学习者一定抱着坚定的信念，挑战各项活动的开展，为提高语言的应用能力而努力。

我们期望此书能成为您的有力帮手，让更多的日语学习者通过此书的学习而使语言应用能力得以提高，为此我们也将不胜欣慰。

本书使用说明（二）

1. 本书的编写理念

①以实践性学习为目的

★我们认为语言的应用能力只有通过实践才能真正提高。

②主张思考性学习

★任何知识的学习都不要死记硬背，不仅要理解作者的主张，更要学会思考，形成自己的观点并加以表达。

③勇于表达自我

★语言是工具，既然是工具就要学会去运用它，运用它来表达自己的思想感情，这是非常重要的。

④培养自主学习能力的同时，学会协作学习。

★自主学习当然很重要，与他人协作学习的能力也是社会人应该具备的基本条件之一。

⑤培养学习者发现问题、解决问题的能力

★高级日语学习阶段，在学习中发出疑问非常重要，既要学会发现问题，同时也要学会解决问题。

⑥通过学习发现自我

★最后，希望广大学习者通过本教材的学习，最终能够对自我有所发现，并能持之以恒地坚持下去，我们将感到万分欣慰。

2. 本书编写的宗旨及目标

本书的编写宗旨是：以提高学习者的语言应用能力为基本目标，同时综合培养日语学习者的语言交际能力。具体可归纳为以下3点：

①培养日语学习者的语言交际能力

★主要培养日语学习者的跨文化理解能力和跨文化交际能力

②培养日语学习者的自我表达能力

★培养日语学习者的思考能力以及自我表达能力

③培养日语学习者的协作学习能力

★如果自主学习是每个人应具备的基本学习能力的话，那么参与小组及团队锻炼与人协作的能力同样也是作为社会人的基本条件，也是我们培养的目标之一。

3. 本教材的基本构成

本教材的内容基本涵盖了高年级日语专业教学大纲所要求的知识范围。内容主要涉及到文学、语言、文化、经典话题、科技等方面，文体涉及到随笔、评论、访谈、小说及诗歌等。

每课内容主要由以下几个方面组成：

①课前热身活动 I

★“课前热身活动”主要是通过回想、讨论、讲解等唤起学生的相关背景知识，从而增强学习者对词汇的印象及回想以往所学知识，加深对将进行的课文内容的理解。

②本文

★为学习的主课文内容部分。

③作者介绍

★为了方便学习者加深对课文内容的了解，提供了作者的基本信息。建议在具体的课堂内容进行中发挥学习者的积极性，由学习者完成对作者的更加详细的、多方位的信息调查。

④词汇与表现

★为了便于学习者自学，特别是自学者更好地理解课文内容，我们对单词、语法、惯用语句表现等做了详细地解释，语法部分有参考例句等。在这部分里，主要让学生掌握所需的基本日语语言知识，增强对课文内容的分析理解能力。

⑤围绕课文内容的提问

★为了深入理解课文内容，围绕课文中的知识点、语言点及作者的观点等提出问题或课题，培养学习者思考问题并解决问题的能力，问题可以独自或几人共同讨论完成，并在课题完成过程中逐渐意识到协作学习的重要性及其能力培养的重要性。

⑥课堂活动 II

★就课文内容进行深入展开的课堂活动与课前热身活动中提及到的部分相关知识或内容起到相辅相成的作用，就课文内容学习中发现的问题进行探讨、分析、发表等，加深对课文内容的深入理解。

⑦相关阅读

★主要针对课文内容进行展开，扩大相关知识面，为学习者进一步提高能力提供空间。

⑧课堂活动 III

★这部分活动内容主要对课堂内容进行深入的思考和讨论。主要目的是加深对课文内容的深入理解。在深入理解的同时，唤起学习者对此问题的思考，发现问题并通过活动来解决问题，并且在完成过程中达到协作学习的目的。

⑨扩展活动

★主要目的是给学习者提供课余互动的机会。既可以对本课内容进行更深入的探讨，又可以培养学习者之间的协作能力，以提高学习者的协作学习能力为主要目标。

⑩学习之窗

★这部分将对课堂学习起到辅助性的作用。为了将各课设置的课堂活动更有效地展开，这部分主要介绍各种活动的具体内容，比如说：是什么样的活动，都有些什么形式，有什么规定，按什么顺序进行等，每部分都有实例进行实际说明。建议学习者一定要参考进行。

⑪其他

★课后附有附录，内容包括词汇、惯用表达和语法·表现。

4. 使用本书的学习者条件（供参考）

①学习对象及日语水平

★日语中级或中级以上水平的学生或自学者。

②学习所需时间

★每一课都是独立的课文内容，建议可根据课文的长短、内容深度等教师自行安排、掌握进度。我们基本设想每课所需上课时间为90-180分钟（可根据实际情况自行规定进度时间）

③班级人数

★根据班级人数的不同，课堂形式可以自行决定。小班人数可以在2-6人等，大班人数可以在30人左右。教师可根据班级人数多少决定课堂活动的开展，人数少可单独提问或两人等进行，人数多可组成若干个小组同时进行，也期望各位教师同仁有更好的、丰富多彩的课堂活动展示给学生们。

④教材及活动的形式

★我们期望是活跃的教室气氛，丰富多彩的教室活动。可以有个人发表及课题的完成，也可以两人一组或多人一组共同完成课题。学习者之间的互动互助学习也是主要培养目标之一。同时我们期待各位教师同仁能将更好的课堂活动形式运用到课堂上，并给我们提出宝贵的意见。非常感谢您对我们的支持。

大连理工大学日语系《高级日语》编写组

2011年7月

目 录

この本をお使いになる方へ	3
このテキストを使って指導される方へ	4
本書使用说明（一）	7
本書使用说明（二）	8
目 录	11

第1課 変わりゆく音の風景	1
第2課 記念写真	14
第3課 天声人語二篇	26
第4課 肥大化する競争社会	39

勉強の窓（一）自己を表現する	52
自己表現をする	

第5課 蜘蛛の糸	57
第6課 大量廃棄社会から循環型社会へ	75
第7課 多言語・多文化の平和共存	87
第8課 テレビを見る時間・見ない時間	100

勉強の窓（二）情報を正しく伝える I	114
報告とインタビュー	

第9課	子供の問い	119
第10課	自然との共存	128
第11課	みどりのゆび	148
第12課	時計	169

勉強の窓（三）	情報を正しく伝えるⅡ	183
	プレゼンテーション	

第13課	日本語の国際化と外来語	190
第14課	病と科学	205
第15課	考えることのおもしろさ	221
第16課	群集の中を求めて歩く	237

勉強の窓（四）	討論する	247
	討論する	

付録

1. 単語	253
2. 慣用表現	275
3. 文法・表現	277



第 1 課 変わりゆく音の風景

グループ活動 I

(ちょっと話して見ましょう)

1. 生活の中で、あなたは、好きな音と嫌いな音とは、どんな音か。
2. あなたの記憶に一番印象深かった音とは、どんな音か。



よりよい住環境を作ろう——音のマナーを大切に——



川原：社会学者

宮田：騒音問題を考える市民グループの代表

川原 最近、私どもは、「音の風景」とか「サウンドスケープ」とか言いましてね。私たちの身の回りにある、すべての音に関心を傾けてるんですが。どうも、我々を取り巻く音の風景が変わってきてるような気がするんですね。この点、どうでしょうか。騒音問題に取り組んでいらっしゃる宮田さんの目からご覧になって。

宮田 そうですね。騒音というと、どうしても空港の騒音とか、建設工事の騒音といったものをまず思い浮かべるんですけど。実際は、他人の話し声とか電化製品のアラーム音など、ごく身近に人を不快にさせる音がたくさんあるんですよね。しかも、そうした生活の中の小さな騒音が、今はどこに行っても洪水のようにあふれている。だから、一昔前は、いつも耳にしていた自然の野原の音が、例えば、木の葉の音や鳥の鳴き声といった、そういう自然の音が、今はよっぽど耳を澄まさない限り聞こえなくなった。そんな気がしてますね。

川原 今、「どこに行っても」とおっしゃいましたけど。音の風景というのは、本来、知識に固有の特徴を持ってたんですよね。それが、最近は世界的に失われつつあるような気がするんです。どこへ行っても、都会は過密で錯綜した音にあふれていて、音の遠近感や広がりといったものが感じられなくなっている。

宮田 そうですね。また、それを騒音だとは感じていない人が多いんですよね。

川原 ええ。ま、たしかに、何を騒音と感じるかは、個人の音体験に深く関わってますからね。それに、文化や時代とも。

宮田 そうですね。時代と言えば、騒音も、産業化のまっただ中にいた頃には、工場の機械の音も電車の音も、「発展の音」や「都市文明の音」に聞こえていたわけですよね。「騒音は文化のバロメーター」だなんて言って。掃除機や洗濯機な



どの家電製品だって、昔は電話の呼び出し音が聞こえないほど大きな音を立ててましたよね。でも、だれも文句を言わずにせっせと使っていた。ま、最近のものは、だいぶ静かになりましたけれどね。でも、その代わりに、なんでもかんでもピッピッピッという電子音ですからね。

川原 あれは耳障りですね。でも、今の若い人には、あの電子音も、生まれながらのなじみ深い生活音で。

宮田 ええ。なじみがあるだけに、自分がそういう音を立てても、他人の迷惑にならないと思ってるふしがあるんじゃないですかねえ。電車の中の携帯電話の音や話し声を、不快だと感じてる人がいるかもしれないなんて、きっと思いもしないんでしょうね。小さい頃に自然の音を聞かずに育ったり、静けさというものを体験せずにきたりすると、音に対する感覚が鈍るんじゃないかなあ。

川原 うーん、音に対する感覚というよりも、自然や人に対する感性が鈍るという気がしますね。例えば、屋根に積もった雪が溶けて、ポタポタと軒下からしたたり落ちる。その音を聞いて、「あ、春が近いのかな」とか。子どもが部屋の戸をバーンと大きな音を立てて閉めたら、「あれ、なんか嫌なことでもあったのかな」って思ったり。音を聞いて、自然や人に思いをめぐらす、それが感性だと思うんですけど、最近は自然の音も生活の音も、すべて無機的に処理されてしまう。

宮田 なるほど、ミヒャエル・エンデが、『モモ』の中で、不愉快な騒音にあふれている大都会の中で、何も感じとれない、心のない人間になってしまう恐ろしさを描いてますが、今、まさに、そういう人間の感性が失われつつあるのかもしれないね。

川原 エンデも言ってますが、自然そのものが生きた存在なんですよ。そういう自然に対して、我々はある種の畏敬の念を抱いて接近する。音だけではなくて、自然の光や匂い、味や触感といった、いろんな感覚を通して、自然を感じる力を養ってかなくちゃいけない。自然に対して、人間の側からのそういうアプローチが必要だと思うんですね。…

作家紹介

川原：社会学者

宮田：騒音問題を考える市民グループの代表

対談とは：

日本語では、二人の談話を対談、三人が鼎談、三人以上(三人を含む)を座談と言います。英語では talk も interview も conversation も人数には関係ないみたいです。ただ三人のときは、a three cornered talk という言い方もします。ちなみに a three cornered relation は三角関係で a three cornered fight は三つ巴戦を意味します。鼎談は「ていだん」と読みます。鼎(かなえ)とは3本足の金属製の鍋のようなものです。

語彙と文法・表現

一、文化語彙の説明

1. 「音の風景」：

1985 年 4 月 1 日から NHK のラジオで放送されている 5 分間の紀行番組である。日本及び世界各地のいろいろな場所を、その場所特有の音を中心に、わずかな解説を付して紹介する。

2. 「サウンドスケープ」：

1960 年代終わりに、カナダの作曲家マリー・シェーファーによって提唱された概念で「音風景」、「音景」などと訳される。風景には音が欠かせないという考え方で、そこからサウンドスケープデザインが生まれた。

3. ミヒャエル・エンデ：

1929 ～ 1995。ドイツの児童文学作家。

4. 『モモ』：

ドイツの児童文学で、1974 年ドイツ児童文学賞を受賞。各国で翻訳されている。特に日本では根強い人気があり、日本での発行部数は本国ドイツに次ぐ。